

まるでフォンティーンとヌレエフのごとく 「ジゼル」全幕共演ではぐくまれた世代を越えたパートナーシップ ダリア・クリメントヴァ、ワディム・ムンタギロフがつむぐ珠玉の愛の物語

2009年、ロンドンのバレエ・ファンは一つの類稀なパートナーシップ誕生の目撃者となった。イングリッシュ・ナショナル・バレエ団のスター・バレリーナであるダリア・クリメントヴァが、入団1年目の新鋭ワディム・ムンタギロフと「ジゼル」全幕を踊った時の事であった。19才の若者と経験豊かなプリマによる愛の物語。不安と期待の入り混じる中、行われたパフォーマンスの幕が降りた時、観客は皆、2人の世代を越えたパートナーシップの妙に酔わされ、感動に心をふるわせていた。

かつてマーゴ・フォンティーンがルドルフ・ヌレエフと出会い、共演し、バレリーナとして第2の黄金時代を謳歌したように、クリメントヴァもムンタギロフという年若きパートナーを得て、近年バレリーナ人生の頂点にあり大変充実した舞台を見せている。フォンティーンとヌレエフ、そしてクリメントヴァとムンタギロフも、初共演は「ジゼル」全幕。2013年2月、日本のバレエ・ファンはこの珠玉のパートナーシップの目撃者となる。

(インタビュー◎アンジェラ加瀬)



ダリア・クリメントヴァ

チェコで生まれる。ブラハ国立コンセルヴァトワール卒業後、ブラハ国立劇場バレエ団にソリスト(最高位)として入団。その後、96年に当時のENB芸術監督デレク・ティーンに招かれ入団する。11年英国舞踊批評家協会賞受賞、12年同協会Dancer of the Year授与。12年2月アリーナ・コジョカルのガラ公演に参加し好評をおさめている。

ダリア・クリメントヴァ [イングリッシュ・ナショナル・バレエ (ENB) シニア・プリンシパル] 「ベスト・パートナーと新国立劇場に出演できて幸せです」

— ワディムは、私が生涯待ち続けた理想のパートナー

3年前、バレエ学校を卒業して間もない新人のワディムと「ジゼル」全幕を踊る事になりました。初めてのリハーサル当日、私は19才の若手との仕事に少しシャイになっていました。ですがリハーサルの早い段階から、彼が自分にとって特別なパートナーになるであろう事に気がついたのです。東欧とロシア出身である私達は、非常に良く似た文化背景とバレエ・スタイルを共有していましたし、ワディムは、若さに似合わず、舞台前も舞台の最中も大変落ち着いていて、パートナーとして私をよく助けてくれました。その後「シンデレラ」「くるみ割り人形」と共演を重ね、「ロメオとジュリエット」を踊った時、彼こそ私が生涯待ち続けたパートナーである事を知ったのです。彼に見つめられ、私は舞台上で16才の少女ジュリエットとしての人生を生き、死んでいく事ができました。長いバレリーナ人生の中でも、とても感動的な一夜でした。

— 「シルフィード」や「ジゼル」の第2幕に代表されるバレエ・ブラン(白いバレエ)を得意とされるクリメントヴァさんから、「ジゼル」全幕主演の抱負や、日本のお客様へのメッセージをお願いいたします。

ここ数年ワディムはダンサーとして、パートナーとして大変成長しました。「ジゼル」の第2幕では、各種リフトに力を発揮し、私を暗闇に浮かぶ精霊ウィリそのもののように見せてくれる事でしょう。来年2月、ベスト・パートナーと共に新国立劇場バレエ団の皆さんとお仕事できる幸せ、再び日本のお客さまの前で踊る幸せに感謝しています。

ワディム・ムンタギロフ [イングリッシュ・ナショナル・バレエ (ENB) プリンシパル / ABT ゲストアーティスト] 「ダリアとなら瞬時にアルベルトとしての人生を生きられる」

— 入団1年目「ジゼル」全幕主演時に起こった奇跡

バレエ団に入団した年に「ジゼル」全幕を主演する事になりました。共演する予定だったバレリーナが病気になった為、急にバレエ団のスターであるダリアと組む事になったのです。19才の僕が彼女の期待にそった演舞やパートナーリングができるのだろうか？と、最初大変不安を感じたのですが、数回リハーサルをするうちに、ダリアとなら何もかもが自然に、そしてスムーズに行える事に気がついたのです。彼女と舞台を共にし、一つの物語を作り上げる時、僕の頭から「振付」や「どう演技しようか？」といった「思考」は全て消え去ります。舞台上で役を生きる彼女の目を一目見るだけで、僕は瞬時にバレエの登場人物になりきり、アルベルトとしての人生を生きる事ができるのです。

— 日本のバレエ・ファンの皆さんへメッセージをお願いいたします。

前回日本を訪れた際、公演の後にたくさんのお客様が遅くまで僕達を待っていてくれたのには大変感動しました。世界各地で踊るようになりましたが、日本のお客様のようにバレエ芸術を心から愛し、ダンサーを応援してくださる方々には会った事はありません。皆さんの応援を目のあたりにし「日本のファンのご期待にそえるよう明日はもっと頑張らなければ！」と、どれだけ心強く感じた事か。今から大好きな日本を再度訪れ、ベスト・パートナーのダリアとの「ジゼル」全幕を観て頂ける事を心から楽しみに、そして自分自身の励みにしているところです。



ワディム・ムンタギロフ

ロシアで生まれる。99年ロシア国立ペルミバレエ学校でバレエを始め、09年ENBに入団。ペルミ国際バレエコンクール「アラベスク」第2位、ワガノワ国際バレエコンクール第1位、ユース・アメリカ・グランプリ第1位を獲得。11年英国舞踊批評家協会賞受賞。12年2月アリーナ・コジョカルのガラ公演に参加し好評をおさめている。